

令和2年度 山形県行政支出点検・行政改革推進委員会 第5回会議 意見概要

◇ 日 時 令和2年12月3日（木） 13：32～14：30

◇ 会 場 あこや会館 201 会議室

◇ 出席委員

委員長 砂田洋志

委 員 石原敏之、小口裕之、小関健太郎、中鉢美佳、樋口恵佳

（欠席：尾形律子、山口良子）

〈五十音順、敬称略〉

◆委員の主な意見等

議事（1）「山形県行財政改革推進プラン2021（仮称）の骨子（案）」について

（石原敏之委員）

プランの柱の項目ごとにSDGsとの対応関係を明記することについて、関連付けが分かりにくくならないよう留意してほしい。

また、山形県が積極的にSDGsに取り組むこととなるので、そのことを前面に出して県全体で盛り上げていただきたい。

（小口裕之委員）

デジタル化は手段であって目標ではない。人と人とのつながりを大事にし、デジタルを活用する人の幸せにつながるようにしてほしい。

（小関健太郎委員）

職員の定員管理について、人員削減により住民サービスが低下しないよう、県民の不安が大きくなるような適切な削減目標を設定してほしい。

また、デジタル化を進めるに当たり、職員と県民のつながりや人と人とのつながりをフォローすることも考えていただきたい。

（中鉢美佳委員）

デジタル化の取組みは、スピード感を持って進めており、好発進できるのではないかと思われる。

一方で、デジタル化についていけない県民もいると思うので、そういった方々へのサポートも考えていただきたい。

また、アナログにはいい面もあるので、全てをデジタル化するのではなく、アナログのいい部分も取り入れてデジタル化を進めていただきたい。

(樋口恵佳委員)

SDGsの取組みを関連付けるに当たって、行革プランの取組みのそれぞれの手法に関連付ける方法と、取組みの目的に関連付ける方法があるので参考にしてほしい。

ま と め

(砂田洋志委員長)

様々な意見があった。本日の意見を参考にしながら、進めていただきたい。

議事(2)「公社等の見直し」について

(中鉢美佳委員)

コロナ禍で団体の経営状況が大きく変わりうる。毎年の点検の中で、経営状況をしっかりチェックしていただきたい。

ま と め

(砂田洋志委員長)

公社自身の不断の見直しが重要。債務超過・解散となった場合、県財政への影響も大きいので、今後も経営の健全性を丁寧に見ていただきたい。